



令和5年度 滋賀医科大学「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）」に係る自己点検・評価書

No.	点検項目	点検結果	評価結果	評価※
1	履修数を把握・分析し、向上に向けた計画の達成・進捗状況を確認しているか。	令和5年度の本プログラム履修者数は計画どおり推移している。（参考資料1） また、令和4年度以降入学者からは文部科学省からの承認を得て対象科目の見直しを行い、履修率100%（休学者除く）を見込んでいる。今後も引き続き計画の達成・進捗状況を確認していく。	各年度のプログラム履修者を把握し、履修率改善に向けた対応を継続していることが確認できたため、点検項目を満たしている。	A
2	学生の学修支援体制は整っているか。	本プログラムに係る科目について、「オフィスアワー（相談体制）」を設け、授業内容や勉強方法等の学生からの質問・相談に対応できる体制を構築できている。	学内ホームページ（まるっと滋賀医大）にオフィスアワーが掲載されており、学習支援体制が整備されているのが確認できたため、点検項目を満たしている。	A
3	シラバスへの記載（到達目標、成績評価等）がなされ、予め開示された方法及び基準に基づき、評価が行われているか。	各授業科目のシラバスに記載した評価方法において適切に評価が実施されている。	シラバスに概ね学習目標、評価方法が記載されており、それに基づいて評価が行われている。	A

令和7年3月3日

滋賀医科大学

数理・DS・AI教育検討専門委員会

4	<p>授業評価アンケート等の結果を参考に、プログラム内容（授業の計画、教育方法、評価方法等）の改善を図っているか。</p>	<p>各科目で学生の満足度調査を行っており、概ね良好であった。</p> <p>なお、授業評価アンケートの結果が「3：概ね満足」未満であった科目については、投票システムを用いた双方向性のある授業や演習、グループ学習、ピア学習などアクティブラーニングの教育手法を取り入れるなど、学生の学修効果や満足度が向上するようそれぞれの科目で改善の工夫を行っている。（参考資料2）</p> <p>今後はより組織的に授業評価アンケート等の結果を参考にプログラムの改善を図る必要がある。</p> <p>令和6年度より数理・データサイエンス・AI教育検討専門委員会の委員として教員を増員し、プログラム内容の改善に係る体制を強化する。</p>	<p>授業評価アンケートの結果を受けて、各担当教員により授業改善が行われていることが確認できた。</p> <p>また、プログラム内容の改善に係る体制を強化するため、令和6年度から検討専門委員会の構成員が見直され、情報系教員を増員していることが確認できたため、点検項目を満たしている。</p>	A
5	<p>プログラム修了者の進路状況等を把握し、就職先等から意見を聴取しているか。</p>	<p>令和6年3月時点で本教育プログラムの修了者4名（看護学科）について、進路状況を把握している。就職先等からの意見聴取については、今後実施していく予定である。</p>	<p>修了者数の進路を把握していることが確認できた。意見聴取については引き続き対応をお願いしたい。</p>	A
6	<p>評価結果を学内及び社会に対して、広く公開しているか。</p>	<p>令和5年度の本プログラムに関する自己点検・評価結果を以下のURLに公開を予定している（以下のURLを参照）。</p> <p><a href="https://www.shiga-med.ac.jp/education-and-support/distinctive-programs#suuri">https://www.shiga-med.ac.jp/education-and-support/distinctive-programs#suuri</a></p>	<p>自己点検・評価結果について、本学HPへの公開が予定されており、点検項目を満たしている。</p>	A

※…各評価は、左記の区分にて判定 【S：『優れた点』があり、十分に行われている。／A：概ね行われており、相応である。／ B：改善の必要がある。】

令和7年3月3日

滋賀医科大学

数理・DS・AI教育検討専門委員会